授業科目　身体運動文化論

【担当教員名】	対象学年	2	対象学科	スポ
小田切　毅　一	開講時期	前期	必修･選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【概要・一般目標：GIO】

身体や運動に関わる文化的諸事象が、時代的制約や社会的ニーズとの関係性の中で、どのように強調され受け入れられてきたかを、主に近代日本スポーツ史にかかわる出来事の中で学び、理解する。さらに現代における文化的諸相を概観しつつ、身体や運動にかかわる問題領域を、自分の日常的な生活行動への関心や、学問的・科学的関心などと、具体的に結びつけて書きとどめられるようになる。

【学習目標・行動目標：SBO】

・明治期における西欧文化への傾斜の中で、スポーツはどのように受け入れられたのかについて理解する。
・線前期までに形成されたとされる「日本的体育・スポーツ道」とは何か。このスポーツの文化論的特性を理解する。
・終戦に伴う民主化への要請によって、体育やスポーツへの強調点はどのようにシフトし得たのかについて、理解を深める。
・スポーツが今日きわめて重要な社会的・文化的ニーズと関わっていることを再検討し、自分なりの発言ができるようになる。
・スポーツに関して身近な思いを書きとどめる経験をする

回数	授業計画・学習の主題	SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	ガイダンス：身体や運動の文化をめぐる時代的制約や社会的環境とは		
2	はじめてスポーツに触れた日本人、「スポーツ」が日本語になったのは何時？		
3	江戸時代まではスポーツがなかった？「着物社会」では、スポーツ運動が不可能？		
4	野球の伝播と普及を介してみた日本的性格とアメリカ的性格		
5	講道館柔道の誕生と西欧スポーツ、そして現代における講道館柔道と国際柔道		
6	「日本的体育・スポーツ道」の形成過程から学ぶもの		
7	教科体育の変遷：「体操科」「体育科」の意味するものは何？		
8	頑張るスポーツは何故発展したのだろうか：頑張らないスポーツなんてナンセンス？		
9	近代スポーツの文化的特徴とは何か：前近代スポーツとの比較論から		
10	アマチュアスポーツとプロスポーツ：どっちが教育的？		
11	生涯スポーツ時代のスポーツ：「Sports for all」から「Sports for everyone」へ		
12	「フェアーな個々をつくる」スポーツについて考える		
13	スポーツについて書く（１）：自分に何が書けるか考えてみる		
14	スポーツについて書く（２）：自分にとってのスポーツへの思いとは何か		
15	スポーツについて書く（３）：エッセイ風レポート報告（総括）		

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格 他＞
教科書 （必ず購入する書籍）				
参考書				
その他の資料				

【評価方法】

出欠＋レポート＋試験

【履修上の留意点】

必要な文献や資料については、適宜授業の折りに紹介する。